

第4回佐倉教育ビジョン策定懇話会 会議録

日 時 令和元年9月19日(木) 10:00 ~ 11:30
場 所 佐倉市役所1号館3階会議室
出席者
委 員 〔敬称略・名簿順〕
大野 尊史 佐藤 和浩 吉村 真理子 大塚 均
高橋 正彦 根本 裕代 吉見 典子
教育次長 花島 英雄
事務局 教育総務課 課長 川島 淳一 主査 今川 孝夫
主査補 林 真理子 主任主事 平田 泰也
傍聴者 1名

○ 事務局から報告事項

前回会議で総合計画素案についての質問に対する回答

・佐倉学の「自然、歴史、文化、ゆかりの人物」の言い回しの順番については、佐倉学の大元の資料で記載している順番に合わせており、今後はこの順番としていく。

・理科実験支援員の記載については、文部科学省で理科支援員配置事業が平成24年度をもって廃止となったが、以後これに代わり市独自に理科教育推進員を2人雇用配置している。市としては、引き続き小学校の理科学習指導の支援を行っていく考えのため、「理科支援員」として掲載しているものである。

・学習状況調査における成果指標の活用力の目標値が現状値を下回っている点に関しては、意図がわかるよう注釈を追記する方向で調整した。

(1)「教育ビジョンの策定にあたって」について

事務局より、配布資料に基づき説明した。

《質問および意見》

特になし。

(2)基本理念、めざすべき佐倉市民像について

事務局より、配布資料に基づき説明した。

《質問および意見》

(委員) この会議で決定した事は市民にどうやって伝え、実践していくのか。

(事務局) 基本理念を掲げながら個々の事業を実施していき、少しでも基本理念やめざすべき市民像に近づけていけたらと思う。

(委員) 学校を卒業すると、教育から離れてしまうので、それに続く施策や取組が伝わるような働きかけをしていく必要がある。

(委員) 学校ではめざすべき市民像や基本理念を保護者が目にすることはあるのか。

(委員) 学校から保護者に伝えるのは、市の理念を受け、学校が個別に定めている教育方針であり、市の基本理念そのものを学校から伝えることはあまりない。

(委員) 意識調査のアンケート結果では、どんな市民、大人が望ましいかという間に、市民、児童・生徒ともに「他人に対する思いやりのある人」という回答が最も多かった。基本理念は、「輝き」だけでなく、「思いやり」という文言を膨らませられたらと思う。

(委員) 基本理念は上位概念なので、ある程度抽象的となる。思いやりの部分は市民像の(1)で表記できていると思う。

(委員) 夢があって目標、計画、アクション、成果とつながるので、流れよく展開できるようになれば良い。

(事務局) 基本理念の「あなた」のところは「誰もが」や「みんなが」や「一人一人が」等言い換えることができるが、これについてはどうか。

(委員) 「あなたが」は、読んだ人にとって自分のことと思えるので良いと思う。

(3)基本方針及び施策の方向性、施策について

事務局より、配布資料に基づき説明した。

《質問および意見》

(委員) 市民像の(3)「国際的な視野を持って」の部分は、基本方針や施策の方向性等に触れられると良いと思う。

(委員) 市民像に記載してあることが施策に裏付けされていると良いと思う。

(委員) 「地域の教育力の向上」について、地域が学校に協力するといっても、地域の人が学校の領域に踏み込みすぎるのは迷惑ではないか。

(事務局) ここでいう「地域の教育力の向上」とは、コミュニティカというよりも、地域のボランティアの方に学校の行事に参加していただいたり、好学チャレンジ教室

で指導をしていただいたりするなど、地域との連携を深めた施策を広げていきたいということを意味している。

(委員) 地域と学校は、お互いの役割があるので、協力するには意思の疎通が大事である。地域の人が学校に日常的に足を運んだり、学校は施設を地域に提供したり、ノウハウを還元すること等で関係が良くなる。

(委員) 基本方針の案Aと案Bについてはどうか。考え方としては、上位から基本理念、市民像、基本方針という順で良いか。

(事務局) 基本理念と市民像は、どちらが上位というよりは同等で、めざすべき市民像を全体で捉えてイメージ的にしたものが基本理念である。

(委員) 案Bは、基本理念の「輝く」という言葉が落とし込んでおり、一体感があると思う。基本理念、めざすべき市民像、基本方針がバラバラだとわかりづらい。

(委員) 文言がたくさんあると紐付けされているのかわかりにくいので、同じ文言があると分かりやすい。

(事務局) 案Aは、1つの基本方針の中に、学校教育と社会教育の施策が明確に分かれておらず、混在しているものもある。

(委員) 案Aは、社会教育と学校教育が協力して施策を行うという意味では良いが、読む側としては、分かれている案Bの方が分かりやすい。

(委員) 案Bは、「輝く」という文言があるので基本理念につながっていることがわかる。市民像の「国際的な視野を持ち」のキーワードは、施策等に反映できれば良い。例えば、施策の方向性の「確かな学力の向上をはかります」のところに、施策として「外国語活動の充実」を入れると、市民像とのつながりがわかりやすいと思う。

(委員) この会議では個別の施策まで検討するのか。

(事務局) 基本方針、施策の方向性、施策までは検討いただきたい。資料5記載の「具体的取組」については、教育ビジョン推進計画で定めることとなる。

(委員) 案Bの基本方針【1】の施策に「幼稚園教育の推進」とあるが、人間の基礎ができる6歳までの乳幼児についての施策を入れてほしい。

(事務局) 健康子ども部で検討している子ども子育て支援事業計画に含まれてくる。市として関与していないということではない。

(5)その他

今回いただいた意見は、内容を踏まえて事務局で再検討する。

次回は、計画書のような体裁で、素案に近い形で示したい。